



たらあ

平成 28 年

4 月号

平成28年4月1日発行

No.505

発行/多良間村役場・編集/総務財政課広報係 〒906-0692 宮古郡多良間村字仲筋 99-2 ☎0980-79-2011



第37回卒園式 計552名が卒園!



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、
39番目の

「日本で最も美しい村」

連合に加盟
しています。

平成28年 第1回多良間村議会定例会提案事項 (結果)

議案第 1号	平成27年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
議案第 2号	平成27年度多良間村介護保険特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
議案第 3号	平成27年度多良間村国民健康保険事業特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
議案第 4号	平成27年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
議案第 5号	平成27年度多良間村後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
議案第 6号	平成28年度多良間村一般会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 7号	平成28年度介護保険特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 8号	平成28年度多良間村国民健康保険特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第 9号	平成28年度多良間村簡易水道事業特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第10号	平成28年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算について	原案可決
議案第11号	多良間村職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第12号	多良間村職員の勤務時間・休暇等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第13号	職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第14号	多良間村職員定数条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第15号	多良間村行政不服審査会条例の制定について	原案可決
議案第16号	多良間村行政不服審査に関する手数料条例の制定について	原案可決
議案第17号	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案第18号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意
議案第19号	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案第20号	教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する 条例について	原案可決
議案第21号	多良間村特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部を 改正する条例について	原案可決
議案第22号	多良間村過疎地域自立促進計画について(平成28年度～平成32年度)	原案可決
議案第23号	平成27年度多良間村一般会計歳入歳出予算の補正について	原案可決
報告第 1号	平成28年度沖縄県町村土地開発公社事業計画書について	報告
発議第 1号	日米地位協定の見直しに関する要望決議	原案可決
発議第 2号	沖縄県の道路網の整備促進に関する要望決議	原案可決

多良間村議会定例会一般質問について

羽地隆憲議員

●水道事業について(住民福祉課長へ)

- ①排水管取替工事による、度重なる断水及び水道水への泥水の混入等、住民から苦情がでているが工事は適切に行われているか伺う。

富原安則議員

●多良間海運監査について(村長へ)

- ①多良間海運監査必要性について伺う。

●区長事務委託料について(村長へ)

- ①多良間村区長の事務委託料の増額改正について伺う。

豊見山 正議員

●教育振興策について(教育長へ)

- ①現在、教育委員会が行っている学校教育以外の学力向上対策について伺う。
- ②今後の具体的施策(取り組み)について伺う。

●農業振興について(村長へ)

- ①新製糖工場事業の内容を伺う。

(1)工場施設の帰属について

(2)施設の賃貸について

●宮糖の株主としての考えを伺う。

●観光振興について(村長へ)

- ①「日本で最も美しい村」再審査に向けての取り組みを伺う。

豊見城玄淳議員

●旧空港跡地利用について(産業経済課長・村長へ)

- ①旧空港跡地利用計画変更について伺う。

●多良間島山羊アイランド構想について伺う。

●沖縄離島振興特別対策事業について(観光振興課長・産業経済課長へ)

- ①沖縄離島振興特別対策事業終了後の現状報告(回答)について伺う。

渡口直和議員

●道路行政について(土木建設課長へ)

- ①道路の安全対策について伺う。

本村健次議員

●タニガー池について(産業経済課長へ)

- ①水の汚れがひどく、牛の飲料水として適しているとは思えないが、今後の取り組みについて伺う。



小学校の遊具点検



新製糖工場建設現場の視察

多良間小学校卒業式

6カ年間のランドセルとお別れ

村立多良間小学校では去る3月23日、12人が晴れて卒業式を迎えた。在校生や保護者・地域の方たちに見守られ、6カ年間背負ってきたランドセルと学舎を卒業した。

各種大会・コンクール等入賞者は次の通り

第65回「社会を明るくする運動」作文コンテスト

【優秀賞】清村彩彩・桃原久実

【入選】新里力・名嘉真南海・下地恵介・下里優菜・山川奈緒美・宮國穂乃香・亀川仁哉・小緑凛・比嘉優作・親里裕菜

沖縄県防風林ポスター原画コンクール

【最優秀賞】桃原久実

【優秀賞】山川奈緒美・比嘉優作

【佳作】下地恵介・亀川仁哉・新里力

全宮古小学校陸上競技大会

【走高跳・優勝】桃原久実

多良間村善行児童表彰 桃原久実

沖縄県「家庭の日」

絵画・ポスターコンクール

【優秀賞】名嘉真南夏

全琉小・中図画・作文・書道コンクール

【韻文・佳作】山川奈緒美

全沖縄児童生徒書き初め展

【銅賞】桃原久実

多良間小学校では、平成27年度の卒業生12人で、6090人が小学校の母校を巣立った。



6カ年間のランドセルと卒業!

♪校歌♪

黒潮うねる♪南海の
岸打つ波の♪花と咲く
常盤の島の♪高台に
燃ゆる希望の♪ひを受けて
きよけくそびゆ♪わが母校
きよけくそびゆ♪わが母校

多良間中学校第68期卒業式

去る3月12日村立多良間中学校(本村晃則校長)において、第68期卒業式が行われた。男子14人、女子13人の計27人が、15の旅立ち、慣れ親しんだ母校に別れを告げた。本村校長から爽やかな笑顔で卒業証書を受けた。

卒業生は一人ひとり、両親に感謝の言葉を述べ、高校進学への夢と希望をつたへ9年間の義務教育が終えたことに喜びと涙で表した。

本村校長は「卒業生は15歳で島を出ていきますが、大事なことは健康第一、感謝する心、また優しい気持ちを持ち笑顔で過ごせるよう頑張ってもらいたい」と激励した。

学校特別賞は次の通り

【9カ年皆勤賞】高江洲由芽

【3カ年間皆勤賞】親里来耶・西筋千華

【校長特別賞】亀川葵

【成績優秀賞】西平夏生・高江洲由芽・垣花未来・亀川葵

【特別活動賞】

スポーツ活動…波平空大・渡口竜晴・西筋千華

文化活動…福原華音

地域活動…久志勝一・伊良皆裕菜

9カ年間の義務教育を無事に卒業!

多良間中学校は、昭和33年度第1期卒業生56人を皮切りに、平成27年度の27人卒業生で3057人が多良間中学校を巣立ち、島内や日本全国、海外などで活躍している。

♪校歌♪

南の端の和やかな♪
民風かおる多良間島♪
昇る朝日に照り映えて♪
そびえ立ちたる学びやは♪
これぞ我等の多良間中♪



9カ年間の義務教育を無事に卒業!

宮糖多良間工場 黒糖寄贈

宮古製糖多良間工場（来間春誠工場長）は村役場を訪れ、今期産サトウキビ操業で製造した黒糖を寄贈した。

村役場を訪れた来間工場長は「今年は平均糖度12.8度と低く横ばい状態ではあるが、製糖工場職員の製造技術で「日本一の良い黒糖」が出来上がった。品質もピカイチです」と述べ、バラ糖、粉糖、成形糖の3種類を寄贈。

伊良皆光夫村長は「多良間の黒糖は全国からほしいという人が多い、ぜひ良い黒糖を作って頂きたい。今期操業を無事故・無災害で最後まで頑張ってほしい」とお礼をこめ激励した。

今期のサトウキビは低糖度で、昨年の台風による塩害などが原因といわれ、それでも日本一の黒糖づくりを誇りをもち職員一丸となり頑張っている。長雨続きで原料不足もあり当初操業予定が大幅に延び、終了を4月25日頃を予定している。



中央 伊良皆村長・右から2番目来間工場長

多良間村の「安全・安心」に協力

去る3月3日宮古島警察署は 感謝状を贈呈された方は次の日頃から警察業務に理解を示し、安全・安心な多良間村づくり

に積極的に協力したとして、村の2団体4個人に感謝状を贈呈した。

- * 多良間村消防団
- * 多良間村婦人連合会
- * 安里則彦
- * 比嘉英秀
- * 知念貴明
- * 波平雄二

村役場で贈呈式が行われ、多良間駐在所の比嘉利昌さんは「今後大きな工事が増える、島外から大勢の人の流れが見込まれる。交通・治安事情も厳しい状況となる。今後も安全な村づくりを協力してほしい」と感謝状を伝達した。

同席した伊良皆光夫村長は「皆さんは、ふだんから村の安全・安心に対し防犯や防災、交通安全等でも頑張っている。何よりも安心・安全という多良間村が一番。今後ともなお一層協力をお願いしたい」と祝辞を述べた。



宮古島警察署多良間駐在紹介

多良間駐在所の仲田真吾です。多良間に来る前は「うるま警察署」の南原駐在所で、2年間勤務をしていました。

駐在の仕事は、地域の方々と協力して行うため、やりがいがあります。今回は初めての離島勤務であり、家族一緒に多良間島に溶け込めるように村行事に参加させて下さい。

平和な多良間村の維持のため「適量飲酒」で、事件・事故防止をお願いします。



●●「青木酒造所跡地」を村へ贈与●●



去る1月、青木省吾氏（埼玉県在）『青木雅英氏の孫』により、多良間村で活用してほしいと「青木酒造所跡地」の畑を村へ贈与された。畑（37平方メートル）井戸と畑（1188平方メートル）の2筆（字塩川阿嘉利原）を贈与。

青木氏は「村の皆様の力で、是非とも多良間の教育・観光のためにご活用いただければ幸いです。島の発展に微力ながら寄与できれば」と話した。

村では井戸を文化財として保存し、畑は児童生徒たちの農場体験学習の場として活用したいと贈与を受けた。有難うございました。

平成28年度 多良間村人事異動



定年退職者の皆さん。長い間お疲れさまでした。

	職員指名	新部署	旧部署
定年退職	豊見山常和		
定年退職	伊良部安則		
定年退職	諸見里幸子		
定年退職	本村 芳子		
昇進	照屋 健市	空港管理課長	総務財政課課長補佐
昇進	清村 賢一	会計管理者	観光振興課長補佐
昇進	比嘉 英秀	総務財政課課長補佐	総務財政課係長
異動	佐和田一八	住民福祉課長補佐	総務財政課課長補佐
異動	翁長 艶子	総務財政課課長補佐	総務財政課課長補佐(出納係)
異動	西筋 優貴	空港管理課	土木建設課
異動	北川 律子	住民福祉課	社会福祉協議会
異動	仲間 和盛	社会福祉協議会	住民福祉課
異動	伊良皆理奈	住民福祉課(保育所)	教育委員会
出向	下地 高子	教育委員会	住民福祉課(保育所)
	本村 雅則	総務財政課	総務財政課長兼会計管理者
	本村 郁子	住民福祉課(保育所) 所長代理兼主任保育士	住民福祉課(主任保育士)
新採用	仲間 智也	総務財政課	
新採用	山城 徳美	土木建設課	
新採用	兼本 奈緒	観光振興課	

◆「村政に対するアイデア」について◆

沖縄県宜野湾市在の郷友の方から提案が寄せられました。

提案内容

- 1.防災時、避難所として八重山遠見にて高層の展望施設。赤瓦屋根を使用とし屋上に望遠鏡の設置にて満天の星空観察をする。・・・など。
- 2.観光客施設として地下に備蓄食糧確保、食堂・ダイビング等事務所や地下1階～4階建ての建造物を造る。・・・など。
- 3.観光の目玉として、昆虫観察や島一周のサイクリングコースを造る。
- 4.遊覧船、グラスボートを利用し、釣りや海中を見ながら水納島上陸できる。・・・など。

応募に対する村としての考え方

すばらしい提案をありがとうございました。本村が取り組むべき課題だと思えます。本村としてできることは何か、他の地域の事例も参考にしながら実施する方向で進めてまいります。今後ともご指導をお願いします。（多良間村総務財政課）

三線の集い

多良間村文化協会

去る3月4日、沖縄全島三線の日にちなみ、多良間村文化協会（池城三千雄会長）では「三線の集い・囃豊響くペーし」というゆまし、とうどうるかし」をテーマに村コミュニティ施設で行われた。

小学2年3年生の合唱で幕が開き、素晴らしい歌声で会場を沸かせた。池城会長は「合唱を披



露した子どもたちは宮古代表として沖縄本島にも行ってきた。三線の日の18回目を迎え、皆さんは年々上達してきた。今日はサンシンの集いを皆で楽しんでほしい」とあいさつ。

子どもたちの歌声で幕開きし、「豊年の歌」や「なりやまあやく」を演奏・合唱した。また字塩川の八月踊り「地謡座」の歌・三線も披露。エイサー同好会や多良間島のチャリンコ青年と仲間たちの踊りなど会場を沸かせた。

「うぷり」行事・害虫を海へ

旧暦の2月に行われる村の伝統行事「うぷり」が島内の海岸で執り行われた。祭事を司る二才頭（ニサイガッサ）や字役員・実行員らが中心となり害虫を海に沈め、農作物の豊作を祈願した。北の海岸にあるイビの拝所に

集合し、両字が捕まえた害虫をクワズイモの葉っぱに包み、イビの海と両字の祭事を執り行う海岸へ移動し、そ



虫船は沖へと流し沈める



れぞれ「虫船」を海の沖へと沈めた。この日は、農民や牛・馬の謹慎の日である。昔は旧暦2月の「ひのえうま」「ひのえう」「ひのえね」の日に行われていたが現在は1回だけとなっている。

昔は役人を高台に座らせ、一品料理を持参し祝宴を開いたと言われている。余興には、若者達の相撲があり子どもたちにも楽しい「うぷり」行事であった。今は余興などは見られなくなつた。いにしえから受け継いできた行事等を若者たちに受け継いでいきたい。

村民ご意見箱を設置(村役場玄関前にて)

村民の皆様から村の業務に関する意見などをお寄せ頂き、より良い多良間村づくりに生かすため役場玄関に設置してあります。どうぞ遠慮なくご意見をお寄せ下さい。

* 村の業務以外の意見や特定の人への中傷、営利目的などの内用は受け付けません。(総務財政課)



村長のたうけーむぬ中む。(ひとりごと)

二十七年目の海を越えた交流

(ハワイ報知新聞より前号からつづく)

オブライエン夫妻来社

そして四月三十日、今は引退生活を送っているオブライエン夫妻に来社して頂き当時の思い出などをうかがった。初めこちらからボトルのことで電話した時は何の事か分かりましたか？

夫人 いいえ 全く何のことか分からず、主人に折り返し電話してもらいました。何かのいたずらかと思っただけです。

オブライエン 私たちもジミーがボトルを流したことは知りませんでしたからね。やんちゃ坊主だったので他にも色々流したと思いますよ。それにしても全く驚きました。今頃になって見るとは。それに手紙をくれた子どもたちが当時のジミーと同じ十三歳というのがとても興味深いと思いました。

夫人 返信先の住所が少し違っていたので届かなかったんですね。この住所の筆跡はジミーではなく姉のサンドラのもののように思います。

—お姉さんがいらつしやるんですね。

夫人 ええ、ジミーとサンドラと弟のパトリックと私たち夫婦でした。夫が陸軍の軍人だったため本土を転々としていましたが、このときはニュージャーシーからハワイに引っ越しするところだったんです。

—何か印象に残っていることは？

夫人 子供たちがもつと小さい時はつきつきりで世話をしなければなりません

んでしたが、この時は三人とも大きくなっていたので、船でのアクティビティーを夫婦で楽しみました。

—ジミーさんは今何をされているのですか？

オブライエン アイオワの小さな町で食品会社に勤めています。朝から晩まで忙しく働いているので、何時頃電話したらうまく連絡がとれるか確認しておきますよ。

オブライエン 夫妻は子供たちからジミーさんあてへの手紙をその場で開封、私たちにもみせてくれた。子供たちはそれぞれボトルをみて驚いたこと、ハワイに行ってみたいこと、ジミーさんに会ってみたいことなどを丁寧に英語で書き子供らしいイラストなども描かれてあった。

多良間島へ連絡

その日の午後二時(日本時間午前九時)ハワイから国際電話で多良間中学校へ連絡した。対応して下さった仲宗根のヨジマせんせい、それから子供たちが英語の手紙を指導した多良間はや子先生は共に転勤になってしまったという事で、ボトルを見つけたモトムラ・マキトくんを呼んでくれた。モトムラくんが電話口にてくるまでの間、職員室では「やったねー。ハワイまでわざわざ送ったかいがあったねー。」という女性の声にパチパチという拍手が聞こえた。

モトムラ おはようございます。

—おはようございます。ボトルはどこでみつけましたか？

モトムラ 海で。波打ち際に打ち上げられていた。

—はじめ拾ったときは何だと思いましたが。

モトムラ 何か、ゴミかと思った。開けてみたら英語で何か書いてあったのでびっくりした。

—手紙は誰が読んでくれたんですか？

モトムラ 担任のヨジマ先生。

—手紙が二十七年前のものだと分かった時はどう思いましたか？

モトムラ すごい、と思った。皆なすごい、と言っていた。

アイオワのジミーさんへ連絡

そしてその二日後、アイオワ州シェルスウィグという小さな街に奥さんのステイシーさんと一歳半の子供と共に暮らしているというボトルを流した本人ジミー・オブライエンさん(40)に電話でインタビューした。

—流したボトルを誰か拾ってくれませんでしたか？

ジミー 最初の一年くらいは期待していましたがその後は忘れてしまいましたね。でもその後ハワイで漁師になってからは時々海でボトルを見つけた際にひよつとして自分の流したもののじゃないかと拾ってみたりしたこともありました。

—沖繩の子供たちがあなたの手紙を見つけたと聞いた時はどんな気持ちになりましたか？

ジミー 全く信じられませんでした。二十七年もたっていたら普通はボトルが壊れるか水が入るかしてだめになっているのに今頃になって拾われるとは・・・。

—沖繩の子供たちに何かメッセージはありますか？

ジミー とにかくボトルを拾った子供たちが二十七年前の自分と同じ十三歳だったということにすごく驚いています。こういう偶然もあるものなんですね。とにかくびっくりしています。

(途中略)

こうして二十七年前に流した一本のボトルから、多良間島、ハワイ、アイオワ州と交流の輪が広がり一つのストーリーは完結した。多良間島の子供たちの流したボトルもいつか、どこかで拾われる日がくるのだろう。十三歳という二度と巡ってこない季節を運んで・・・。



薬草を食していますか？ 健康長寿沖縄へ！

沖縄薬草の本を見ると数多く自生している。また畑や海岸沿いには季節の旬が年中味わえる。多良間島にある薬草を紹介しよう。

ニガナ

ニガナは琉球王朝の時代から滋養食とされた薬草の一種で、苦味がある。特に海岸に近いところに自生しているものは苦みが強い。この独特の苦味で昔から健胃剤の薬草として重宝されてきた。ビタミンCやカロテン、カルシウム、カリウムが豊富で風邪の諸症状や胃腸にも良い。(アタリあたりで栽培されているものは、あくも少なく苦味もやわらかい)料理の方法は、細かく刻んで豆腐と混ぜた白和えが代表的である。また、魚汁に入れると臭みが緩和され、薬味として健胃野菜として食されている。人によって苦味そのものが敬遠されるが、苦味をおいしい味わいの一つとして楽しめる野菜である。

パンダマ

(シガシヤドゥ フシユリ)

効用として
*抗菌化作用による生活習慣病予防の機能

ビタミンAの作用を介して上皮、器官、臓器の成長や分化に関与するβカロテンが多く含まれており、生活習慣病の予防に有効と考えられている。赤い色素には、フラボノイド化合物のアントシアニンが豊富に含まれており、酸化作用により動脈硬化や脳梗塞の予防効果が期待される。また、ビタミンC、ポリフェノールも豊富に含まれており、コラーゲンの生成ならびに重要な酸化物質として作用する。

して作用する。

*口内炎の予防作用

ビタミンB2が豊富に含まれており、糖質、脂質、タンパク質の代謝に関わり、細胞の再生を促し、粘膜を丈夫にすることから、口内炎に効果がある。

*高血圧と脳卒中の予防の機能

カリウムが豊富に含まれており、血圧の降下や動脈硬化のリスク低減に有効性が示唆される。

〔長命草〕シヤフナ

長命草は温暖な地域で、海岸沿いや集落内の道路脇などに自生する多年草の一種です。ビタミンやミネラルを豊富に含み、古くから料理や民間薬として、健康に役立てられてきた食材です。多良間では「シヤフナ」と呼ばれ、セリ科の多年草植物。

厳しい太陽の日差しと強力な潮風で育つ長命草にはミネラルやポリフェノール類であるクロロゲン酸、ビスナジンが含まれている。長命草の主な成分として、ビタミンA、ビタミンB2、ビタミンC、ビタミンE、カロテン、カルシウム、ポリフェノールを豊富に含んでいるため、民間療法では風邪やぜんそく、腎臓病、神経痛の治療にも用いられてきた。また、中でも長命草のポリフェノール含有量は美容効果で有名なゴーヤーの7倍もあるという。古くから長命草は高血圧、動脈硬化、リュウマチ、神経痛、喘息、百日咳、風邪、熱などに良いと言われられてきた。

*与那国島では、長命草を特産品として栽培

し出荷している。

〔雲南百薬〕うなんひやくやく

沖縄で生産される薬物野菜であるツルムラサキの仲間。多良間島ではあまり耳慣れしない野菜である。ミネラルを多く含み、身体によいとされる。葉を切るとワカメのように粘り気があることから「オカワカメ」とも呼ばれる。雲南百薬の主な成分のマグネシウムは特に突出していて、レタスなど野菜の8倍近くあるといわれている。

*主な成分と効能

・マグネシウム62・31mg / 100g : 筋肉の機能を正常にする。自立神経失調症・糖尿病・狭心症・便秘・ガン

・カルシウム70・8mg / 100g : 骨や歯を形成、白血球の食菌作用を助ける。アレルギー・骨粗しょう症・気管支炎・胃潰瘍

・亜鉛0・709mg / 100g : 細胞の新生を促す。高血圧・心筋梗塞・ガン・味覚異常

・銅0・164mg / 100g : 血液をきれいにし、コラーゲンの生成に働く。貧血・静脈瘤・生理不順・生理中・白内障

・葉酸24ug / 100g : 赤血球を形成し、免疫力を向上させる。視力・動脈硬化に効果

・ビタミンA1740ug / 100g : 胃腸や肺の粘膜を強化する。視力・動脈硬化に効果

これらの野菜(薬草)を毎日、或いはひんぱんに食すれば健康の源となり、きっと何らかの形で健康促進に関わってくると思う。「健康は食から！」

3月

世帯数と人口 (平成28年3月末現在)		
総世帯数	519 (-6)	
総人口	1,169 (-21)	
男	628	女 541
区別	人口	世帯数
土原	62 (-5)	30 (-2)
天津川	93 (-5)	40 (0)
川良	104 (-2)	50 (-2)
宮間	71 (1)	30 (0)
嶺道	149 (-1)	67 (0)
大木	186 (-2)	92 (0)
吉川	295 (4)	121 (0)
水納	204 (-11)	85 (-2)
	5 (0)	4 (0)
出生	1	死亡 2
転入	9	転出 29

()内は前月比

誕生

字塩川522番地 湧川 農・多絵さんの四男 葉生くん 平成28年3月26日

おくやみ

字塩川 52番地5 垣花 常勝 大正7年2月25日(98歳) 平成28年1月23日
 字塩川206番地1 浜川 森吉 昭和16年6月8日(74歳) 平成28年3月19日

緊急ダイヤル	
火災・救急 ワンクッションコール	119番
警察官派出所 (79-2010)	110番
急病人 多良間診療所	79-2101
歯科診療所医師	79-2162
停電 沖繩電力多良間営業所	79-2147
断水 役場住民福祉課	79-2623
家畜疾病 役場産業経済課	79-2503
ガス専用JA多良間	090-6859-2355

救急に関すること (3月)

- ◆時間外救急受付 6件
- ◆救急車出動 1件
- ◆ヘリ搬送 1件

火災・救急ワンクッションコール: 119

※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

多良間村史(民話)よりシリーズ⑥

清明の話し
(シーミーは去る四月四日)

清明とは、清明という人の名前である。シーミーという人が色々なことを人々に教えていることを、ウプトウキという者は恨んでいた。どうにかしてその者を殺して、自分の思っていることを思い通りにすることが、自分のためになるということで、そのシーミーを殺してしまつたところ、9日までに天の神様に知られてしまい、その天の神様は下りてきて、シーミーに「どういふことで、そうなつてしまつたのか」と聞かれると、「私はもう、このように内蔵がくされて落ち、生き返るといふことは出来ない」といふので、その神様は、自分が連れていた犬の内臓を取って入れて、生き返らせた。もう犬の肝は土臭くなつてしまつた。

そしてシーミーは鶏にし、ウプトウキはヤモリにしてしまつたらしい。その時から、鶏とヤモリは敵同士になつて、鶏のえさとなり、時を知らせるのは、ヤモリがビービーと鳴いて、それから鶏が鳴くということもはっきり決まつているそうです。

編集後記

* 今度の冬は寒かったと感じた人が多かったのでは? 「三寒四温」 冬の間の時期3日間の寒い日と、4日間の暖かい日が続く、寒暖が繰り返される現象のことである。まさにそのような繰り返しであった。

* 鳥は「春爛漫」デイゴの花は咲き、木々の新芽が初々しい。これからは夏へと一直線。

* 中学校では68期卒業式がおこなわれ、27人の卒業生が15の旅立ちで島を離れる。全員が高校へと進学する。高校生活を思いっきりエンジョイしてほしい!

* 人事異動で広報担当をおわります。長い間、ご指導・激励のことば、ありがとうございます。今後とも「広報たらま」よろしくお願ひします。

てるけん